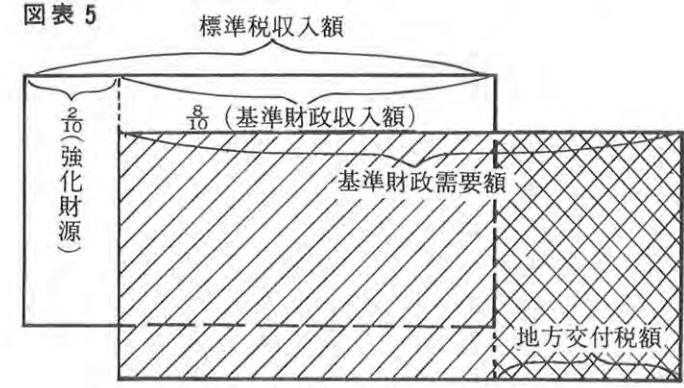


て、これの早期解消を求めるのは当然のことかもしれません。

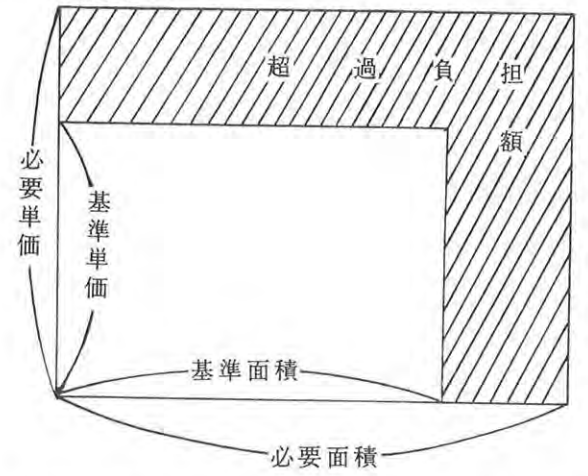
「県債」

県債は、県が発行する地方債で①災害復旧など一時に多額の財源を必要とする場合、②庁舎など公共施設は、一般に長期間の使用が考えられ、そのため、その建設費を使用期間に応じて各年度毎に負担することが適当な場合、③収益事業で

図表 5



図表 6



地方税などを使用せず、受益者の負担で事業を行うことが適当と考えられる場合等において、それぞれ発行するものです。しかし、地方債を発行する場合は、国が発行する国債と異り、自治大臣の許可が必要とされており、国に對して地方債の増加発行を国に對して要請しているのはこのためです。

▽低成長経済下の財政運営の方向

以上、当面する財政運営の問題点について説明しましたが、これは基本的にはこれまで続いてきた我が国の高度成長経済が低成長経済へ移行するに際しての摩擦的現象であるのみならず、なればなりません。これまでの地方財政は高度成長経済の下に、その規模を急速に拡大することが容易にでき、それによって新しい行政需要に 대응することができました。しかし低成長経済の下では、これまでのように財政規模の拡大が期待できず、従って、従来の財源配分を根本的に洗いなおし、より重点的・効率的な使い方を考え、スクラップアンドビルドの積極的な推進をしていかなければ新しい行政需要に支えられません。その他、我が国の地域政策は、いま大きく転換すべき時期を迎えています。高度成長経済期における経済優先の地域開発は国土利用の不均衡を惹起しました。最近になって、これは単なる経済的な意味での不均衡ということではなく、国全体が人間尊重、生活優先へと考え方が変わってきたので、特に生活環境問題とい

う形で深刻なものとなってきました。そして、その解決の重要な方向として、地方を見直し、地方を育成していくことが国家的な課題とさえなってきたてきております。住民は生活水準の向上につれて、生活の便利さだけでなく、澄んだ青空や緑に恵まれた快適な生活環境の中で、心のふれあう潤いと安らぎのある生活を強く求めております。その欲求を十分満たす地域社会はもはや都会の過密地帯には見いだせなくなっています。そのため今後の地域づくりにおいては、これまでの考え方とは異なり、その地域のもつ自然や歴史、伝統を十分に生かした独自の地域文化が定着するような郷土づくりが必要となってきました。もちろん地域づくりは、国や地方公共団体の努力にまつところが少なくありませんが、基本的には社会的な連帯意識をもった地域住民一人ひとりの郷土愛の総結集にまたねばなりません。これからは経済の高度成長期におけるような財政規模の拡大が望めないとなれば、今後予想される静かでありながら安定成長の時代に即した地域づくりを、県民意識の盛り上げと力の結集により目指す必要があると考えます。

山と人生

鹿本郡 中野 金治

私の家は、祖父の代から山に興味を持つようになり、人が欲しがらない山を、つとめて買い求めていたというので、不便なところが多いが、大体まとまったところが多い。

昔は、山に自生する自然茶が地域の大きな特産物となっていて、手造りによって製品化されていたという。祖父は、その半製品を広く買い集め、馴れた人を雇い、製品に仕上げて神戸まで出荷していた。

現在のような道路もなく、福岡県黒木町まで往復四十軒以上の山道を、峠を越えて馬の背で運んでいたと、当時の状況を少年時代に父から聞いたものである。その苦勞の結晶が山となって残り、現在もなお受けつがれている。今の若い人に話しても昔話として聞き流すであろうが、先人が汗を流して山に関心を持ったのも私にはわかるような気がする。

私は何時も「山と人生」には深い共通点を感じる。自然をくもし出す山も、人の考えによっては変身することがある。また人間も自然の力に圧倒されることも数多くある。

山に植えられた木にしても、植えただけでは自ずす木に成長し、世に役立つ立

派な木となることはむずかしい。生い茂る雑草や蔓等を取り除き、適当な環境づくりをしてこそ一人前の木に成長するのである。

また人間に例えれば、乳幼児から育て義務教育をおわり、今では殆んどの人が高校に進学するというように、社会情勢の変化に对应して勉学にはげみ、さらに生活のなかで人間的ないろいろな苦業を味わうものである。しかし人のため、世のために尽せるようになるまでには、相当の長い年月と知識の吸収をして、幾多の経験を重ねてこそ、はじめて一人前に成長するものである。木にしても、必要な時期に適当な保育管理があってこそ、目ざす立派な木に育てることが出来る。

山は、どんな苦しみにも耐え得る素質をもち、大気をきよめ、水を湧出し、変ることなく植生を養いつづけている。山は正直であるが故に、恐らく怒ることもある。そんな山の心理を知り対話ができるとしたら、限りなく繁榮することであろう。労苦に耐え、陰日向のない山や人こそ私は尊敬する。

次々と伝え継がれ行く山。衣は代れど姿、形は変らぬ山。永遠に生きつづけてほしいものである。（林業自営者）



理想像

新天草郡 横山 キク

あらゆる職域でそれぞれの理想像を掲げている。私もよい意味で歴史の浅い奉仕員の理想像はどんなものであろうかと考えてみた。そうして経験を通して頭に画いたこともある。一口に言うって飽きない奉仕員、飽かれない奉仕員となる技又そのコツではなからうかと、私なりに考えた。そうして測定基準を幾つかあげてみた。と同時に自己を反省又他を察し測定をこころみだ。先づ飽きないようにするコツは奉仕の内容である。①それは、その時もっている自己の能力の限界にとめること。②過剰奉仕は過保護に共通する面もあって、広義に解決して無益を生ずる可能性もある。研修会等で業務内容について云々されることもあり、まことに結構で大きい歓迎されることであるが、又一方に於いては対象者の或はその周囲について調査、観察の資料を整えておけば、その中で十分処理が出来、苦勞も少なく不平・不満を起すことは極めてない。取捨選択、情勢判断でよい処理のしかたと言うことになる。

次は飽かれないかを観察し又考える。

理想像

新天草郡 横山 キク

見よう。それは、①訪問した時の表情、心の奥底から出る言葉であり笑顔であるか。②待ち顔で又言葉の上で今日は来てくれる日であると訪問日を忘れないでいる。③待ち構えたように相談や用件のおもむきをもち出す。④希望的で楽しい会話のやりとりが出来。よい意味のしゃべり過ぎも時にはある。⑤こちらから求める資料の要求に必ずしも応じず、あらわれる。⑥自分以外の対象者のいることをほのめかす。これは幸せの分ちあとも考えられる。⑦必要以上と思われ謝辞を浴びることもある。⑧待つています又お願いしますと必ず言う。信頼しているのだから。我が家の内緒話まで打明ける。この場合期待に込める心のきびしさをもつことを新に感ずる。⑩豊富な相談を持ち込まれる。この場合、奉仕員の内容も自然豊かさを増し経験を豊富にすることが出来る。

以上簡単であるがまとめて言えることは、何事によらず勉強の場はどこにでもありと言ふことを忘れてはならないということである。集会の席もなくてはならない非常に大切なことで能率をあげる上にも高率が期待される。それにプラスして仕事を通して学ぶことは機会も多く容易に得られることである。我が師は今こゝにと人知れず口ずさんでも憚りはない。（老人家庭奉仕員）